



RESASで読み解く鹿児島県の現在と未来 II

写真協力：公益財団法人 鹿児島県観光連盟

内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭

松浦 義昭 氏



内閣府 R E S A S 専門委員。経済学博士。
著書に『R E S A S の教科書』（共著、日経 B P 社）。

内閣官房・内閣府と実践的な地域人材育成教育プログラムを共同開発。
実施結果を踏まえて利用可能な教材やカリキュラムを体系化し提供を
行っています。2016年から2020年までに約6,000人が学んでいます。

R E S A S（地域経済分析システム）について、全国で講演。
また、政府機関、自治体、教育研究機関、民間企業等において地域分析
の助言や地域分析の研修を担当するなど R E S A S の利活用を研究。

研究テーマは、内閣官房及び内閣府との連携教育の実践と評価。
産官学金連携の教育研修プログラムの開発・支援。
EBPM：Evidence-Based Policy Making（証拠に基づく政策立案）支援。

第2部

V-RESAS

調査分析の手法と実践

V-RESASとは

V-RESAS

データ更新日

📍 都道府県を選択

お気に入り

解説コラム

RESAS

人流

消費

飲食

宿泊

イベント

興味・関心

雇用

企業財務

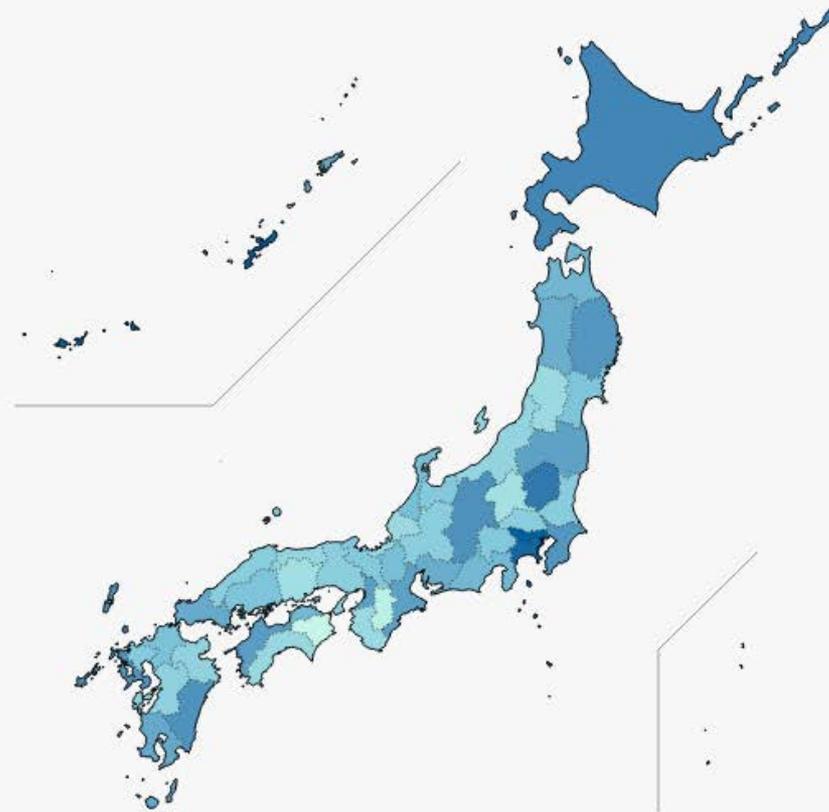
移動人口の動向



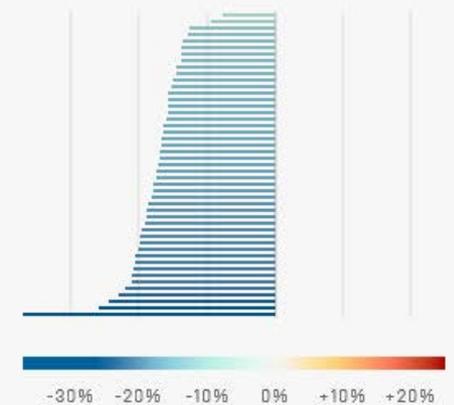
2021年1月25日～31日の2019年同週比

時間帯

すべての時間帯



移動人口の都道府県ごとの分布



V-RESASとは

新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響の可視化



V-RESASは、新型コロナウイルス感染症〔COVID-19〕が、地域経済に与える影響の把握及び**地域再活性化施策の検討**におけるデータの活用を目的とした見える化を行っているサイトです。

地方創生の様々な取組を情報面から支援するために、内閣府地方創生推進室と内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局が提供しています。

01

人流

People Flow Data

今回の訪問は、今も活動を続ける活火山、鹿児島島のシンボル・桜島をはじめとする豊かな自然や観光資源を有する鹿児島市です。



人流に関するデータ分析のご相談



人流に関する分析のご相談

観光振興が担当の有村です。

観光需要を喚起するために、効果的な情報発信や受入れ体制の充実など観光振興に力を入れてきました。

これまでの取組みを踏まえて変化に対応した新しい振興策を提案したいと考えています。

そのため人流に関するデータを収集して地域の現状や課題を整理しておきたいと考えていますが、どのようなデータに着目すればよいでしょうか？



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

観光は、飲食店や宿泊施設、土産品店、交通事業者等の幅広い業種に関連する裾野が広い産業です。

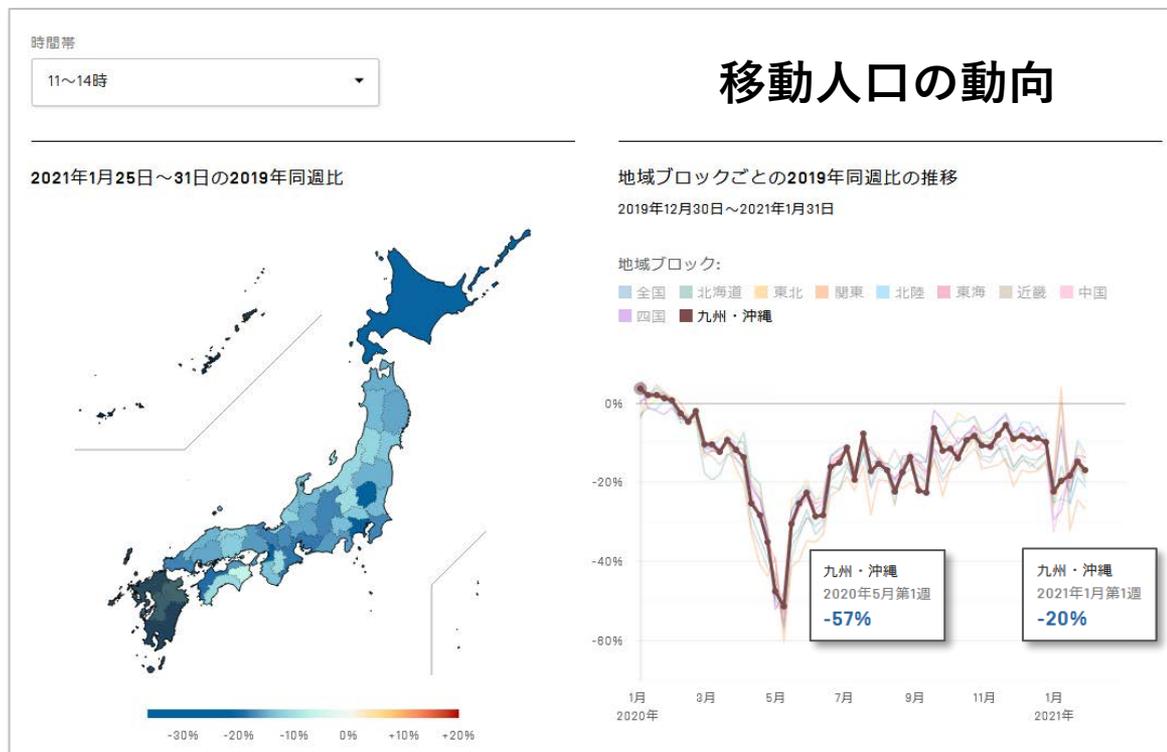
さて、ご相談の内容についてですがV-RESASは、人流について即時性の高いデータを提供しています。

さっそくスマートフォンのアプリからユーザーの同意の上取得した位置情報データをもとに人の流れを可視化したV-RESASの人流データで、地域の人流を把握することしましょう。

地域の人流の変化は？（九州・沖縄ブロック）

分析視点

各地域ブロックにおいて、人の移動がどの程度まで回復しているのかを把握することができます。



V-RESAS Key Point

指定した時点において市区町村に滞在している人口のうち、推定居住地が他の市区町村である人口を移動人口と呼んでいます。これを週毎に合計して、都道府県別や地域ブロック別に表示しています。

経済活性化には人の移動が重要となります。V-RESASでは、この人の移動に関する詳細な現況をいち早く把握することができます。



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

【出典】内閣府地方創生推進室、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「V-RESAS（人流）」。
株式会社Agooopの「流動人口データ」。

- 2020年1月から2021年1月までの昼間（11時から14時）の九州・沖縄ブロックの推移は、移動制限のあった20年5月の-57%（対2019年同週比）をボトムに、21年1月第1週には-20%の水準まで回復。

地域の人流の変化は？

分析視点

特定の都道府県からの県をまたいだ移動が、どの程度まで回復しているのかを把握することができます。また、構成比の順位の変動から季節ごとの誘客策の検討に役立てることができます。

都道府県を跨いだ移動の最新上位10都道府県

2019年12月30日～2021年2月7日

エリアから他都道府県への移動

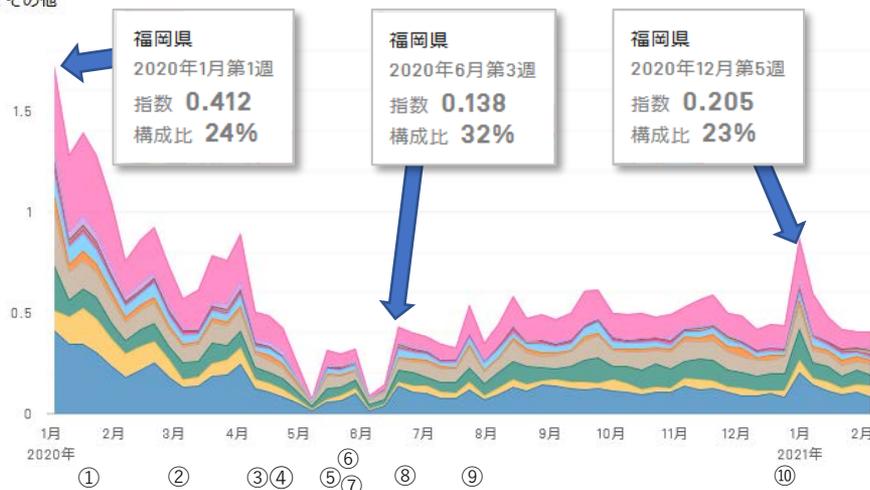
エリア

鹿児島

他都道府県からエリアへの移動 エリアから他都道府県への移動

最新上位10都道府県:

福岡県 東京都 宮崎県 熊本県 長崎県 大阪府 広島県 徳島県 埼玉県 神奈川県
その他



【出典】内閣府地方創生推進室、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「V-RESAS（人流）」。
株式会社Agoopの「流動人口データ」。

(注) 計算式に基づいて算出された指数は、2019年同週比を意味するものではなく、2019年の週平均の都道府県を跨いだ移動人口を1とした場合の数字

- 鹿児島エリアから他都道府県への移動で最も多いのは福岡県である。年間を通して福岡県への移動は、全体の約2割程度を占めている。なお、都道府県をまたぐ移動が緩和された20年6月は同県への移動が約3割に増加。

V-RESAS Key Point

他都道府県からの移動も確認しましょう。新型コロナウイルスの感染拡大の影響でインバウンド需要だけでなく、都市部からの観光客や出張に訪れるビジネスマンの移動も変化しています。

これらの市場が縮小しているなかで国や自治体の支援による経済の下支えとともに、地域内で経済が循環する仕組みの構築が求められています。



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

番号	月日	新型コロナウイルス関連の主な出来事
①	1月16日	国内で初めての感染者を確認
②	3月2日	全国の全ての小中学校が臨時休校へ
③	4月7日	緊急事態宣言を7都道府県を対象に発令
④	4月16日	同宣言の対象を全都道府県に拡大
⑤	5月14日	同宣言を39県で解除
⑥	5月21日	同宣言を関西3府県で解除
⑦	5月25日	同宣言を全面解禁へ
⑧	6月19日	都道府県をまたぐ移動の自粛要請を緩和
⑨	7月22日	「GoToトラベル」キャンペーン開始
⑩	12月28日	「GoToトラベル」キャンペーン停止

【出典】内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室の関連資料をもとに作成。

分析
視点

新型コロナウイルスに関する主な出来事は、地域の滞在人口にどのような変化をもたらしたのか。

推定居住地ごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日～2021年1月31日

代表観測地点

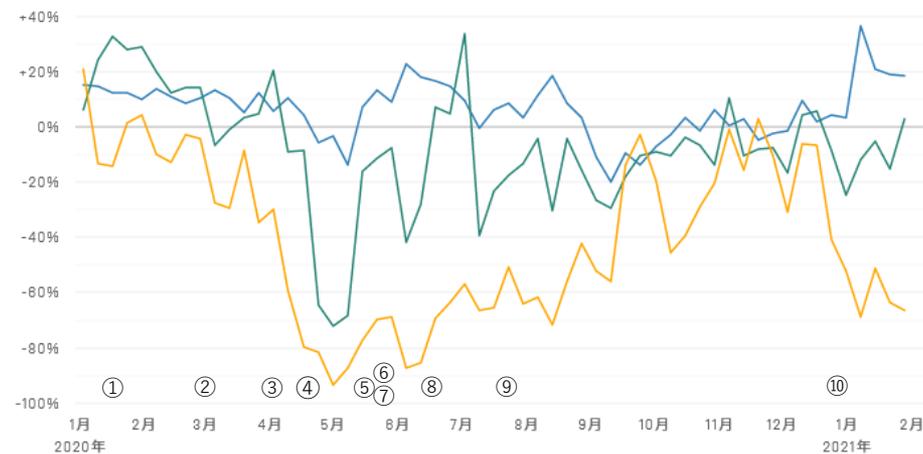
鹿児島中央駅

時間帯

11～14時

滞在人口の推定居住地:

■ 市区町村内 ■ 都道府県内 ■ 都道府県外



【出典】内閣府地方創生推進室、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「V-RESAS（人流）」。株式会社Agoopの「流動人口データ」。

鹿児島中央駅周辺の滞在人口の動向

V-RESAS Key Point

「滞在人口」とは、駅を含む500m四方に平均して滞在すると推定される人口です。時間帯別に推定していません。

この滞在人口を県内・県外・市区町村内の3つに区別して、2019年同週比で表しています。グラフは昼間の滞在人口です。飲食店の時短要請による夜間の変化も確認してみましょう。



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

番号	月日	新型コロナウイルス関連の主な出来事
①	1月16日	国内で初めての感染者を確認
②	3月2日	全国の全ての小中学校が臨時休校へ
③	4月7日	緊急事態宣言を7都道府県を対象に発令
④	4月16日	同宣言の対象を全都道府県に拡大
⑤	5月14日	同宣言を39県で解除
⑥	5月21日	同宣言を関西3府県で解除
⑦	5月25日	同宣言を全面解禁へ
⑧	6月19日	都道府県をまたぐ移動の自粛要請を緩和
⑨	7月22日	「GoToトラベル」キャンペーン開始
⑩	12月28日	「GoToトラベル」キャンペーン停止

【出典】内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室の関連資料をもとに作成。

- 鹿児島中央駅周辺の昼間（11時から14時）の推移は、20年4月中旬の緊急事態宣言前後に急減。その後5月には底打ちする。7月には県内の滞在人口がプラス圏に。12月には県外からも19年同週並みに回復。

分析
視点

在宅勤務の進展や外出自粛で、朝夕の通勤・通学時間帯の滞在人口は、どのように変化したのか。

推定居住地ごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日～2021年1月31日

博多駅周辺の滞在人口の動向

代表観測地点

博多駅

時間帯

11～14時

滞在人口の推定居住地:

■ 市区町村内 ■ 都道府県内 ■ 都道府県外



【出典】内閣府地方創生推進室、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「V-RESAS (人流)」。株式会社Agooopの「流動人口データ」。

V-RESAS Key Point

九州最大のターミナル駅「博多駅」この駅の滞在人口を県内・県外・市区町村内の3つに区別して、2019年同週比で表しています。グラフは昼間の滞在人口です。在宅勤務が進んでいますので、朝夕の通勤・通学時間の滞在人口の変化も確認してみましょう。



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

番号	月日	新型コロナウイルス関連の主な出来事
①	1月16日	国内で初めての感染者を確認
②	3月2日	全国の全ての小中学校が臨時休校へ
③	4月7日	緊急事態宣言を7都道府県を対象に発令
④	4月16日	同宣言の対象を全都道府県に拡大
⑤	5月14日	同宣言を39県で解除
⑥	5月21日	同宣言を関西3府県で解除
⑦	5月25日	同宣言を全面解禁へ
⑧	6月19日	都道府県をまたぐ移動の自粛要請を緩和
⑨	7月22日	「Go Toトラベル」キャンペーン開始
⑩	12月28日	「Go Toトラベル」キャンペーン停止

【出典】内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室の関連資料をもとに作成。

- 博多駅周辺の昼間（11時から14時）の推移を見ると20年4月の緊急事態宣言直後に急減。5月に底打ち。
- 7月には県内・市内ともに前年水準まで回復。21年1月第1週に急伸。一方、県外からの回復は緩やか。

分析視点

多客期の交通機関の利用状況を把握することで、移動の回復状況やG o T oトラベルキャンペーンの効果、コロナ収束後の多客期における利用状況の検討に活用することができます。

コロナ禍における九州新幹線の利用状況について

期 間	ゴールデンウィーク期間中			お盆期間中			年末年始期間中		
	2020年4月24日から5月6日			2020年8月7日から8月17日			2020年12月25日から21年1月5日		
区 間	本年	前年	対比	本年	前年	対比	本年	前年	対比
博多駅～熊本駅	36	499	7.1%	123	445	27.8%	166	420	39.5%
熊本駅～鹿児島中央駅	18	251	7.2%	61	220	28.0%	83	208	39.8%

【出典】 J R九州「News Release」2020年5月7日号、2020年8月16日号、2021年1月6日号のデータをもとに筆者作成。

V-RESAS Key Point

ゴールデンウィーク、お盆期間、年末年始といった多客期には、列車の混雑状況や駅の利用状況が発表されます。

毎年旅行や帰省、Uターンで混雑する時期ですが新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて2020年は例年の様な利用は見られません。

G o T oトラベルキャンペーンを開始した7月以降の利用状況は回復傾向にあります。



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

- J R九州新幹線の博多駅～熊本駅間の利用状況は、GW・お盆・年末年始にかけて回復傾向にある。
- 熊本駅～鹿児島中央駅についても、同様の水準で回復傾向。年末年始には前年の約4割にまで回復。

演習 地域の人流 まとめシート

V-RESASおよびその他の統計データから地域の人流の特徴を調べてシートに整理します。

項目	内容	RESAS 操作
地域ブロックごとの人流の変化は？	V-RESAS (人流) 滞在人口：地域ブロック	V-RESAS (人流)
あなたが住む地域近辺の代表観測地点の人流の変化は？	V-RESAS (人流) 滞在人口：都道府県内	V-RESAS (人流)
あなたの地域の人流に対する新型コロナウイルスの影響は？ テレワーク拡大による影響は？	V-RESAS (人流) 滞在人口	V-RESAS (人流) 新型コロナウイルス関連の 主な出来事
あなたの地域と往来の多い県内外の地域は？ 往来の多い県内外の地域の代表観測地点における人流の変化は？	From To分析 (滞在人口)、目的地への出発地一覧、V-RESAS (人流)	まちづくりマップ>From to 分析 (滞在人口) 観光マップ>目的地分析 V-RESAS (人流)
まとめ 地域の人流の現状・課題		
(記入欄)		

人流に関するデータ一覧

分野	項目	データ概要	データ詳細	出典	計算式・留意点
人流	移動人口の動向	全国の移動人口の動向を2019年同週比で表示。	スマートフォンの特定のアプリケーションから、ユーザの同意の上取得したGPSデータを昼夜間人口をベースに人口統計化したデータ。	株式会社Agoopの「流動人口データ」（GPSデータを元に換算処理を施した人口換算値）を元に集計	①各市区町村における「推定居住地が市区町村外のもの人口」を週毎に合計（これを移動人口と呼ぶ）。② ①で求めたものを都道府県別、地域ブロック別に合算。③ ②で求めたものについて2019年同週からの変動を下記の計算式によって縦軸に示すyの値とする。なお、グラフ上ではこれをパーセント表記で示す。 $y = (\text{当該週の移動人口} + 2019年同週の移動人口) - 1$ ※移動人口 = 指定した時点で市区町村に滞在している人口のうち、推計居住地が他の市区町村である人口。※換算人口 = アプリユーザ等に居住地（市区町村）を紐付け、居住地の人口およびユーザ数から1人あたりの重さを設定し、滞在時間を考慮したメッシュ単位の推定人口。※なお2019年同週の定義はISO 8601およびJIS X 0301に準拠する
	代表観測地点の滞在人口	全国の代表的な観測地点における滞在人口を2019年同週比で表示。	スマートフォンの特定のアプリケーションから、ユーザの同意の上取得したGPSデータを昼夜間人口をベースに人口統計化したデータ。	株式会社Agoopの「流動人口データ」（GPSデータを元に換算処理を施した人口換算値）を元に集計	①各代表観測地点の駅重心に位置する500m四方に滞在する人口（これを滞在人口と呼ぶ）。② ①で求めたものについて2019年同週からの変動を下記の計算式によって縦軸に示すyの値とする。なお、グラフ上ではこれをパーセント表記で示す。 $y = (\text{当該週の滞在人口} + 2019年同週の滞在人口) - 1$ 。※滞在人口 = 平均して滞在していると推定される換算人口数。指定された時間帯等に占める滞在した時間の割合で計算される。なお、1時間ごとに判定され、当該時間帯のうちわずかな時間でも滞在すると、滞在したとカウントされる。※換算人口 = アプリユーザ等に居住地（市区町村）を紐付け、居住地の人口およびユーザ数から1人あたりの重さを設定し、滞在時間を考慮したメッシュ単位の推定人口※なお2019年同週の定義はISO 8601およびJIS X 0301に準拠する
	滞在人口の動向	都道府県および代表観測地点の滞在人口の動向について、2019年同週比で表示。	スマートフォンの特定のアプリケーションから、ユーザの同意の上取得したGPSデータを昼夜間人口をベースに人口統計化したデータ。	株式会社Agoopの「流動人口データ」（GPSデータを元に換算処理を施した人口換算値）を元に集計	①各代表観測地点の駅重心に位置する500m四方に滞在する人口（これを滞在人口と呼ぶ）。② ①で求めたものについて2019年同週かつ同一時間帯からの変動を下記の計算式によって縦軸に示すyの値とする。なお、グラフ上ではこれをパーセント表記で示す。 $y = (\text{当該週の滞在人口} + 2019年同週の滞在人口) - 1$ 。※滞在人口 = 平均して滞在していると推定される換算人口数 ※換算人口 = アプリユーザ等に居住地（市区町村）を紐付け、居住地の人口およびユーザ数から1人あたりの重さを設定し、滞在時間を考慮したメッシュ単位の推定人口 ※なお2019年同週の定義はISO 8601およびJIS X 0301に準拠する
	都道府県を跨いだ移動	当該エリアの滞在している人口がどの都道府県から来たか、また、当該エリアに居住している人口がどの都道府県に行ったかを、2019年の週平均の都道府県を跨いだ移動人口との比率（指数）で表示。	スマートフォンの特定のアプリケーションから、ユーザの同意の上取得したGPSデータを昼夜間人口をベースに人口統計化したデータ。	株式会社Agoopの「流動人口データ」（GPSデータを元に換算処理を施した人口換算値）を元に集計	①選択したエリアに滞在している人口について、居住地である都道府県毎、週毎に、移動人口を合計。② ①で求めたものについて、下記の式によってyの値を計算し、縦軸に示す。 $y = (\text{当該週の都道府県を跨いだ移動人口} + 2019年の週平均の全国からの都道府県を跨いだ移動人口)$ 。 エリアから他都道府県への移動： ①選択したエリアに居住している人口について、滞在地である都道府県毎、週毎に、移動人口を合計。② ①で求めたものについて、下記の式によってyの値を計算し、縦軸に示す。 $y = (\text{当該週の都道府県を跨いだ移動人口} + 2019年の週平均の全国からの都道府県を跨いだ移動人口)$ ※滞在人口 = 平均して滞在していると推定される換算人口数。※換算人口 = アプリユーザ等に居住地（市区町村）を紐付け、居住地の人口およびユーザ数から1人あたりの重さを設定し、滞在時間を考慮したメッシュ単位の推定人口他都道府県からエリアへの移動。※なお2019年同週の定義はISO 8601およびJIS X 0301に準拠する。※ツールチップ内の%表記は、当該月の各都道府県が占める構成比割合を指す。※その他留意点：計算式に基づいて算出された指数は、2019年同週比を意味するものではなく、2019年の週平均の都道府県を跨いだ移動人口を1とした場合の数字。

(出典) V-RESASのHP (<https://v-resas.go.jp/>) の情報をもとに作成

02

消費

Consumption

消費に関するデータ分析のご相談（1）



消費に関する分析のご相談

商業振興を担当する山下です。

中小企業のための経営支援全般に取り組んできました。また、事業承継にも力を入れています。

地域でのコロナ禍の影響を消費に焦点を当てて把握し、そこから、取り組むべき課題や回復に向けた効果的な対策を明らかにしたいと考えています。

消費に関するデータを収集して地域の現状や課題を整理しておきたいと考えていますが、どのようなデータに着目すればよいのでしょうか？



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

V-RESASでは、消費に関してリアルタイムに近い、即時性の高いデータを提供しています。

さて、ご相談の内容ですが、コロナ禍での影響は業種によって様々です。

さっそくV-RESASで提供されている匿名化されたクレジットカードの決済データで、地域の小売業やサービス業の現状を整理しましょう。

V-RESASの機能を活用して地域の現状を把握し、地域経済回復に向けた効果的な施策を検討していきましょう。

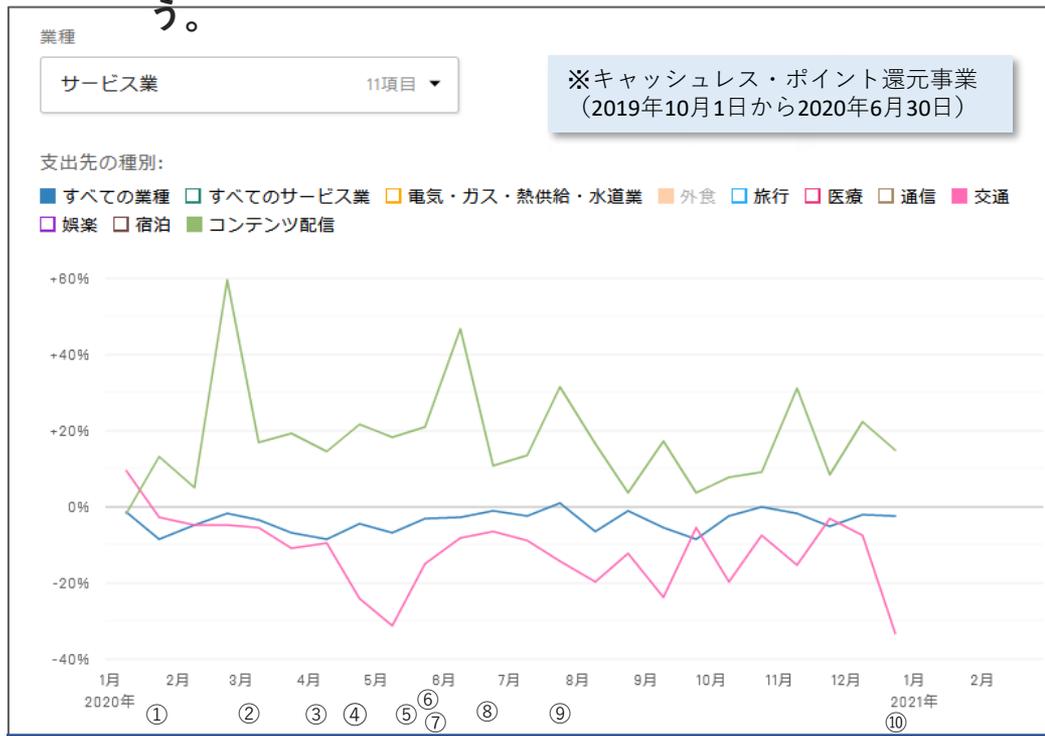
地域の人々の消費の変化は？

(サービス業の業態別比較：いつ、どこで買っている？)

分析視点

まずは、①外出をともなう消費と②外出をともなわない消費、の2つにおおまかに分類しましょう。つぎに、クレジットカード決済情報をもとにしたデータに表れる両者の消費動向を比較しましょう。

クレジットカード決済情報をもとに見る消費動向レス・ポイント還元の実施期間を考慮しましょう。



【出典】内閣府地方創生推進室、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 「V-RESAS (消費)」。
JCB/ナウキャスト「JCB消費NOW」。

【注】クレジットカード決済が対象です。現金決済は含まれていません。

クレジットカードの決済情報をもとに地域の消費の変化を前年同期比で表しています。ここでは、①外出をともなう消費と②外出をともなわない消費の2つの業種に着目して変化を確認してみましょう。



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

番号	月日	新型コロナウイルス関連の主な出来事
①	1月16日	国内で初めての感染者を確認
②	3月2日	全国の全ての小中学校が臨時休校へ
③	4月7日	緊急事態宣言を7都道府県を対象に発令
④	4月16日	同宣言の対象を全都道府県に拡大
⑤	5月14日	同宣言を39県で解除
⑥	5月21日	同宣言を関西3府県で解除
⑦	5月25日	同宣言を全面解禁へ
⑧	6月19日	都道府県をまたぐ移動の自粛要請を緩和
⑨	7月22日	「Go Toトラベル」キャンペーン開始
⑩	12月28日	「Go Toトラベル」キャンペーン停止

【出典】内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室の関連資料をもとに作成

■ クレジットカードの決済データをもとに、鹿児島県の消費動向を前年同期比で見ると、外出を伴う消費の代表である交通への支出は低調に推移。一方、コンテンツ配信は通年で好調を維持している。

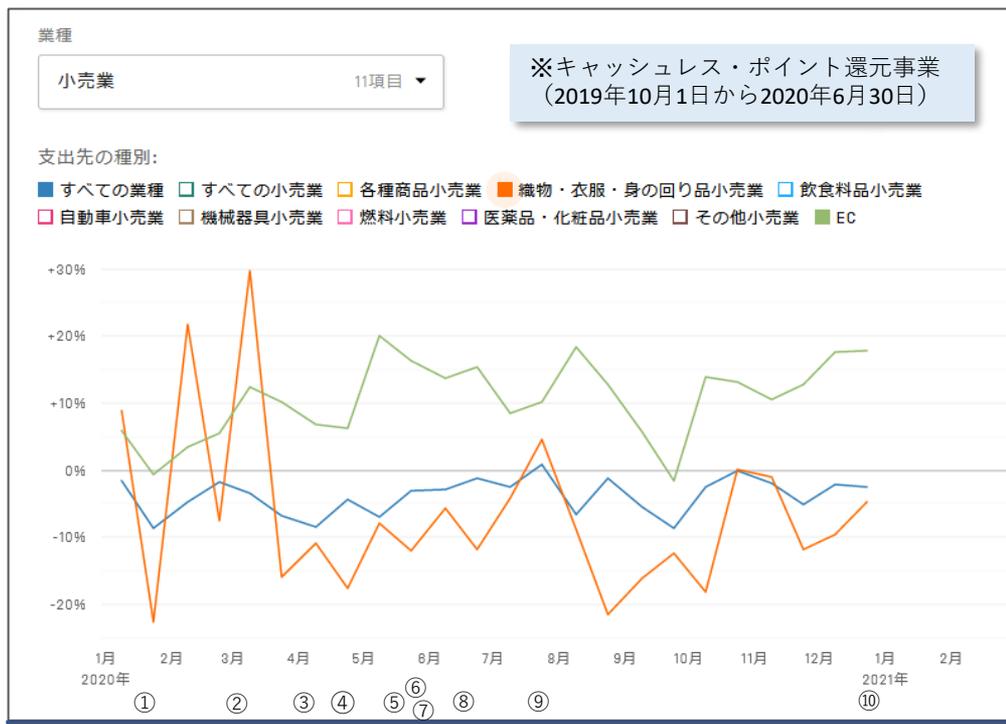
地域の人々の消費の変化は？

(小売業の業態別比較：いつ、どこで買っている?)

分析視点

まずは、①外出をとまなう消費と②外出をとまなわない消費、の2つにおおまかに分類しましょう。つぎに、クレジットカード決済情報をもとにしたデータに表れる両者の消費動向を比較しましょう。さらに、決済手段には現金を含まず、キャッシュレス・ポイント還元の実施期間を考慮しましょう。

クレジットカード決済データから見る消費動向



【出典】内閣府地方創生推進室、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「V-RESAS（消費）」
JCB/ナウキャスト「JCB消費NOW」。

【注】クレジットカード決済が対象です。現金決済は含まれていません。

V-RESAS Key Point

新型コロナウイルスの影響で家で過ごす時間が増え「巣ごもり消費」が伸びました。

外出関連の消費（織物・衣類等小売業）他と外出をとまなわない消費（EC）に着目して変化を確認してみましょう。



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

番号	月日	新型コロナウイルス関連の主な出来事
①	1月16日	国内で初めての感染者を確認
②	3月2日	全国の全ての小中学校が臨時休校へ
③	4月7日	緊急事態宣言を7都道府県を対象に発令
④	4月16日	同宣言の対象を全都道府県に拡大
⑤	5月14日	同宣言を39県で解除
⑥	5月21日	同宣言を関西3府県で解除
⑦	5月25日	同宣言を全面解禁へ
⑧	6月19日	都道府県をまたぐ移動の自粛要請を緩和
⑨	7月22日	「GoToトラベル」キャンペーン開始
⑩	12月28日	「GoToトラベル」キャンペーン停止

【出典】内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室の関連資料をもとに作成

■ クレジットカードの決済データをもとに、鹿児島県の消費動向を前年同期比で見ると、小中学校の一斉休校と在宅勤務の要請があった3月上旬、織物・衣類等小売業が急減。一方、ECは堅調に推移。

消費に関するデータ分析のご相談（2）



消費に関する分析のご相談

仕入れが担当業務の東です。

売れ筋の商品を仕入れて販売機会を逃さないように、消費動向をしっかりと把握して適正な仕入れを行うことが求められる仕事です。

コロナ禍での在宅勤務や外出自粛の影響から自宅で食事をする頻度が増えたことで保存性の効く商品が売れ筋になるなど消費者行動の変化を感じています。

V-RESASの消費データを肌感覚と合わせて活用して、販売機会を逃すことなく、需要に対応していきたいと考えています。

消費に関するデータを収集して地域の需要を整理しておきたいと考えていますが、どのようなデータに着目すればよいのでしょうか？



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

「巣ごもり消費」が伸びたように、人々の消費行動はコロナ禍で変化しています。

V-RESASでは、こうした消費行動の変化をとらえることができるデータを提供しています。

全国の約1200店舗のスーパー、GMS（総合スーパー）のPOSレジにより集計された売上情報をもとに、各商品の売上高の変化を見ることができます。

コロナ禍での影響と一口に言っても、地域や時期、商品によって影響は様々です。V-RESASでコロナ禍での消費について詳しく調べてみることにしましょう。

分析
視点

スーパーマーケット、GMS（総合スーパー）のPOSレジにより集計された売上高指標について新型コロナウイルスの主な出来事と関連づけて、その変化の背景を理解します。

POSで見る売上高動向



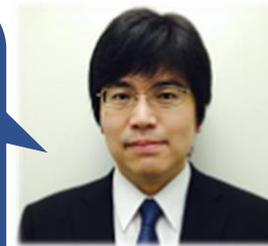
【出典】内閣府地方創生推進室、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「V-RESAS（消費）」
ノウキャスト、株式会社日本経済新聞社「日経CPI Now」。

V-RESAS Key Point

新型コロナウイルス拡大による一斉休校や外出自粛などの影響で起きた「巣ごもり消費」。

長期に保存ができる乾パスタと家で手軽に調理できるパスタソースの売上が増加しました。

保存性と簡便性に着目してどの食品の売上が伸びたか調べましょう。



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

番号	月日	新型コロナウイルス関連の主な出来事
①	1月16日	国内で初めての感染者を確認
②	3月2日	全国の全ての小中学校が臨時休校へ
③	4月7日	緊急事態宣言を7都道府県を対象に発令
④	4月16日	同宣言の対象を全都道府県に拡大
⑤	5月14日	同宣言を39県で解除
⑥	5月21日	同宣言を関西3府県で解除
⑦	5月25日	同宣言を全面解禁へ
⑧	6月19日	都道府県をまたぐ移動の自粛要請を緩和
⑨	7月22日	「GoToトラベル」キャンペーン開始
⑩	12月28日	「GoToトラベル」キャンペーン停止

【出典】内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室の関連資料をもとに作成

- POSレジにより集計された売上情報をもとに、乾パスタとパスタソースの売上高の推移をみると、鹿児島県では、3月一斉休校、4月の緊急事態宣言時に賞味期限が約2年と保存性が高い主食の前者と簡便性のある後者の組合せが増加。

地域の人々の消費の変化は？

(いつ、何をどれくらい買っている?)

分析 視点

保存性のある食品の売上が突発的に伸びている場合には、その地域の地域特性を確認するとともに、自然災害（この場合には2020年9月の台風10号）の影響の有無についても確認しましょう。

POSで見る売上高動向 鹿児島県の乾パスタ



POSで見る売上高動向 福岡県の乾パスタ



POSで見る売上高動向 北海道の乾パスタ



POSで見る売上高動向 東京都の乾パスタ



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

V-RESAS Key Point

新型コロナウイルス拡大による一斉休校や外出自粛などの影響で起きた「巣ごもり消費」。

長期に保存ができる乾パスタの売上が増加しました。

また、20年9月にも乾パスタの売上高が突発的に伸びています。

こうした保存性のある食品の急激な伸びは、その地域の地域特性を確認するとともに、自然災害の影響も確認しましょう。

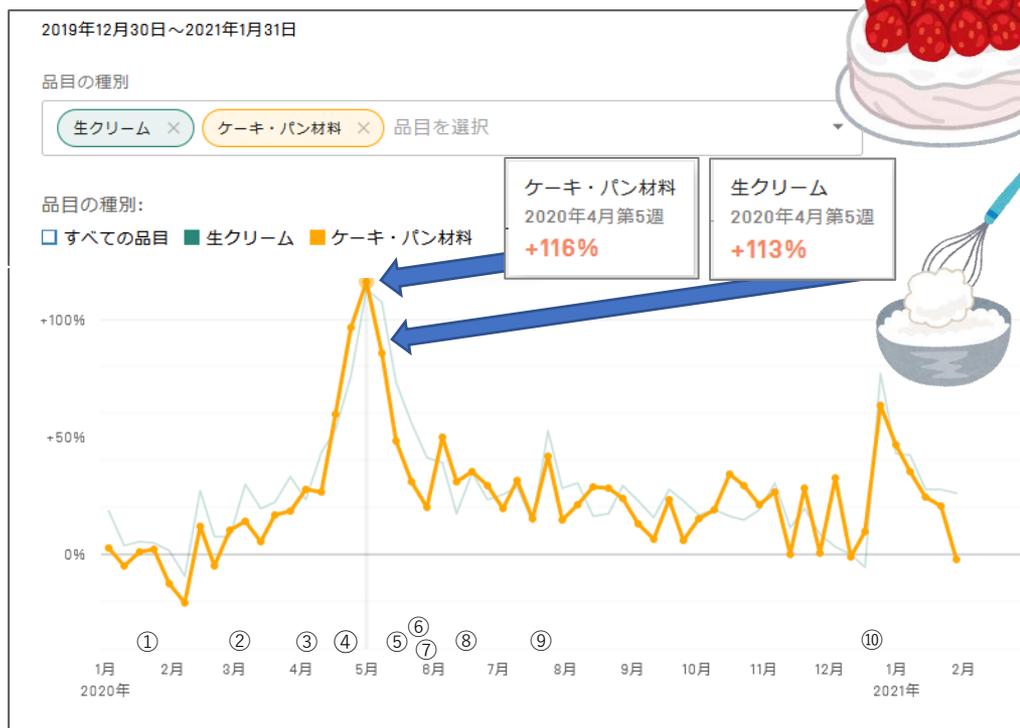
【出典】内閣府地方創生推進室、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「V-RESAS（消費）」ナウキャスト、株式会社日本経済新聞社「日経CPI Now」。

■ 乾パスタの売上高の推移をみると、2020年9月の台風10号があった9月に鹿児島県や福岡県等で売上が急伸。

分析
視点

スーパーマーケット、GMS（総合スーパー）のPOSレジにより集計された売上高指標の推移から、その地域での消費行動の変容に持続性がみられるものかどうかを確かめます。

POSで見る売上高動向



【出典】内閣府地方創生推進室、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「V-RESAS（消費）」
ナウキャスト、株式会社日本経済新聞社「日経CPI Now」。

V-RESAS Key Point

新型コロナウイルスの影響から在宅時間が増え「手作り」調理を楽しむ傾向が広がりました。

着目点は、売上ピークの時期とその後の売り上げ状況です。

生クリーム、ケーキ・パン素材は4月末が売上のピークですが、その後もプラスを維持。定着していることがうかがえます。



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

番号	月日	新型コロナウイルス関連の主な出来事
①	1月16日	国内で初めての感染者を確認
②	3月2日	全国の全ての小中学校が臨時休校へ
③	4月7日	緊急事態宣言を7都道府県を対象に発令
④	4月16日	同宣言の対象を全都道府県に拡大
⑤	5月14日	同宣言を39県で解除
⑥	5月21日	同宣言を関西3府県で解除
⑦	5月25日	同宣言を全面解禁へ
⑧	6月19日	都道府県をまたぐ移動の自粛要請を緩和
⑨	7月22日	「GoToトラベル」キャンペーン開始
⑩	12月28日	「GoToトラベル」キャンペーン停止

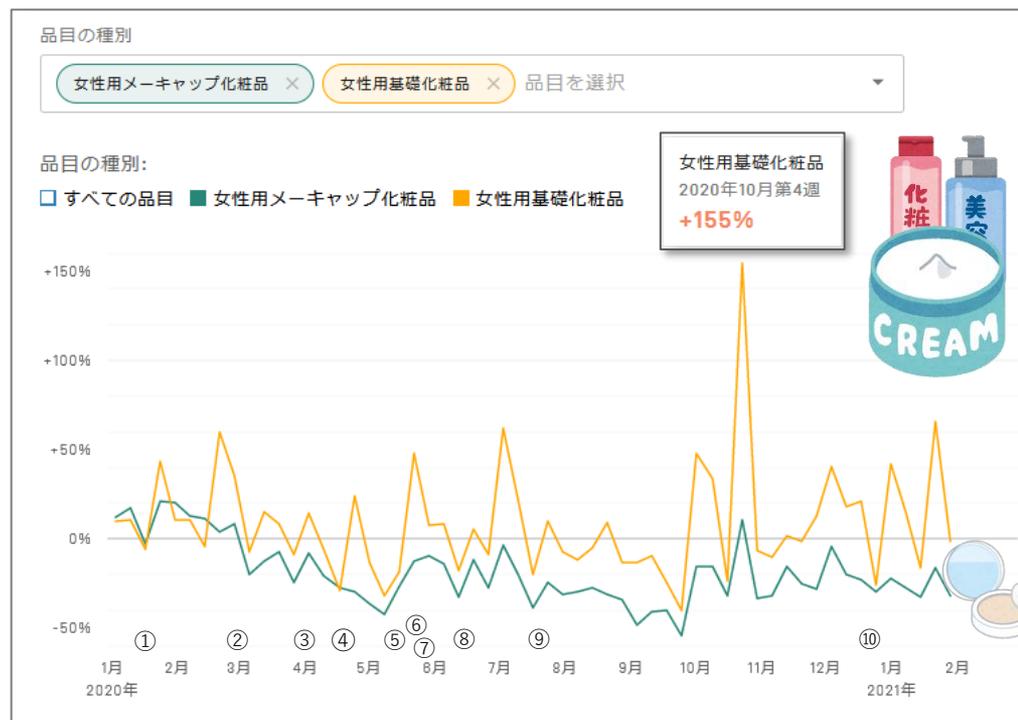
【出典】内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室の関連資料をもとに作成

- POSレジで集計された売上情報をもとに、生クリームとケーキ・パン素材の売上高の推移をみると、鹿児島県では、3月の一斉休校、4月の緊急事態宣言時の需要を経て、5月に入り家庭で手づくり料理を楽しむ傾向がうかがえる。

分析
視点

品目の選択では、あらかじめV-RESASで用意されている①その地域で変化の特徴的な品目、②注目度の高い品目の中から選択することもできます。

POSで見る売上高動向



【出典】内閣府地方創生推進室、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「V-RESAS（消費）」
ナウキャスト、株式会社日本経済新聞社「日経CPI Now」。

V-RESAS Key Point

在宅勤務や外出自粛による外出機会の減少は、人々の消費行動に影響を与え、その結果は商品の売上高の変化にあらわれます。

外出機会の増減と売上高に関連のない商品がある一方で、外出機会の減少が売上高の減少につながる一例がメーカー化粧品です。



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

番号	月日	新型コロナウイルス関連の主な出来事
①	1月16日	国内で初めての感染者を確認
②	3月2日	全国の全ての小中学校が臨時休校へ
③	4月7日	緊急事態宣言を7都道府県を対象に発令
④	4月16日	同宣言の対象を全都道府県に拡大
⑤	5月14日	同宣言を39県で解除
⑥	5月21日	同宣言を関西3府県で解除
⑦	5月25日	同宣言を全面解禁へ
⑧	6月19日	都道府県をまたぐ移動の自粛要請を緩和
⑨	7月22日	「Go Toトラベル」キャンペーン開始
⑩	12月28日	「Go Toトラベル」キャンペーン停止

【出典】内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室の関連資料をもとに作成

- POSレジから集計された売上情報をもとに、女性用の基礎化粧品とメーカー化粧品の売上高の推移をみると、外出しなくても使用する前者は堅調。一方、在宅勤務の進展による外出減少やマスク着用で後者は不振。

演習 地域の消費 まとめシート (1)

V-RESASおよびその他の統計データから地域の消費の特徴を調べてシートに整理します。

項目	内容	RESAS 操作
地域ブロック、都道府県別の商品ごとの売上高の変化は？	V-RESAS 消費 (POSデータ：品目別)	V-RESAS (消費)
商品ごとの売上高 同じ様な売上高の変化を示している商品どうしの組合せは？	V-RESAS 消費 (POSデータ：品目別) (例1：乾パスタとパスタソース) (例2：生クリームとパン・ケーキ素材)	V-RESAS (消費)
商品ごとの売上高 新型コロナウイルスの影響は？ 売上が増減した商品の背景は？	V-RESAS 消費 (POSデータ：品目別)	V-RESAS (消費) 新型コロナウイルス関連の主な出来事
小売業における消費の変化は？ 売上増の業種、売上減の業種は？ 予測：収束後にどの様な変化が？	V-RESAS 消費 (決済データ：業種別)	V-RESAS (消費)
サービス業での消費の変化は？ 売上増の業種、売上減の業種は？ 予測：収束後にどの様な変化が？	V-RESAS 消費 (決済データ：業種別)	V-RESAS (消費)

まとめ 地域の消費の現状・課題

消費に関するデータ分析のご相談（3）



消費に関する分析のご相談

食料品製造業・販売を営む松元です。

新鮮な素材と昔ながらの技法で「さつま揚げ」を製造・販売してきました。

徹底して素材にこだわった、シンプルなさつま揚げが店では一番人気です。

去年の売上は例年並でした。コロナ禍でどれくらい売れ行きが違ってくるのか、自分の店以外のことは知りませんでした。もしV-RESASで参考になるデータがあれば収集しておきたいと考えています。

どのようなデータに着目すればよいのでしょうか？



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

V-RESASでは、コロナ禍での消費行動の変化をとらえることができるデータを提供しています。

全国の約1200店舗のスーパー、GMS（総合スーパー）のPOSレジにより集計された売上情報をもとに、各商品の売上高の変化を見ることができます。

さて、ご相談の「さつま揚げ」は水産練り製品揚げ物に該当します。

コロナ禍での影響と一口に言っても、地域や時期、商品によって影響は様々です。V-RESASで「さつま揚げ」を含む鹿児島県産の水産練り製品・揚げ物の売上高の変化を詳しく調べてみましょう。

特産品の売上高の変化は？

分析 視点

スーパーマーケット、GMS（総合スーパー）のPOSレジにより集計された購買情報を分析することで、地域ブロックごとの日常的な消費傾向の把握に役立ってます。

品目の分類

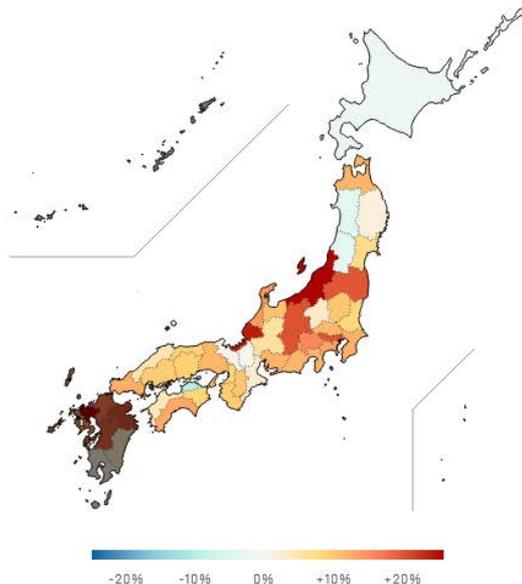
水産練り製品、チルド半製品

品目の種別

水産練り製品・揚げ物

POSで見る売上高動向

2021年1月25日～31日の前年同週比



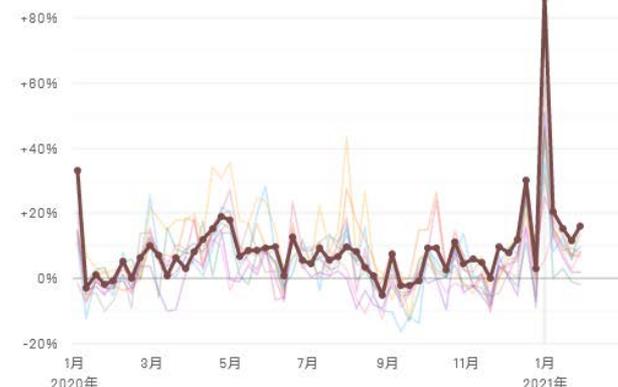
【出典】内閣府地方創生推進室、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 「V-RESAS（消費）」。
ナウキャスト、株式会社日本経済新聞社「日経CPI Now」。

地域ブロックごとの前年同週比の推移

2019年12月30日～2021年1月31日

地域ブロック:

全国 北海道 東北 関東 北陸 東海 近畿 九州・沖縄
四国



V-RESAS Key Point

鹿児島の伝統食品である「さつま揚げ」。地元では「つけ揚げ」と呼ばれています。

V-RESASでは、水産練り製品・揚げ物に該当します。

左の地図は、さつま揚げを含む水産練り製品・揚げ物の対前年同週比の売上高の変化が色の濃さで、右のグラフは、地域ブロックごとの推移が示されています。



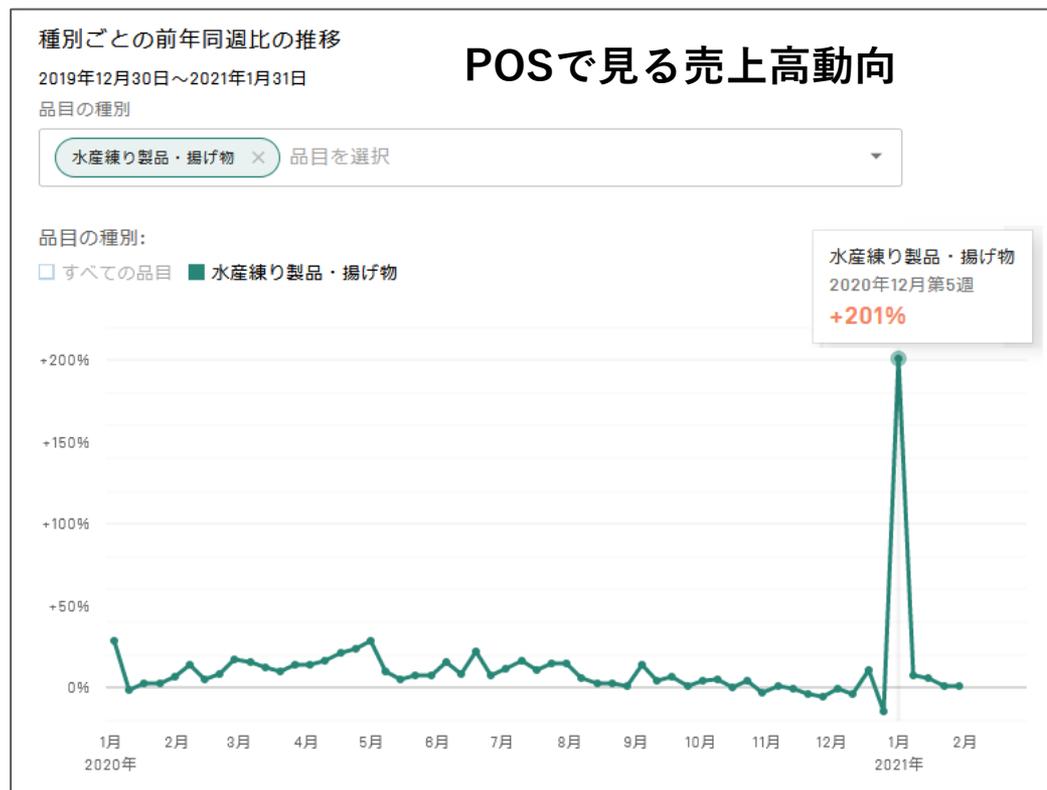
内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

- 九州・沖縄ブロックにおける水産練り製品・揚げ物の売上高は、2020年1月以降ほぼ年間を通して対前年同週比でプラスを維持。同品目の売上高は、全国的に12月末に伸びる傾向にあるが、特に九州・沖縄はこの傾向が顕著である。

特産品の売上高の変化は？

分析 視点

スーパーマーケット、GMS（総合スーパー）のPOSレジにより集計された売上高指数から地域の特産品について、その消費動向を把握します。



【出典】内閣府地方創生推進室、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 「V-RESAS（消費）」。
ナウキャスト、株式会社日本経済新聞社「日経CPI Now」。

V-RESAS Key Point

全国約1200店舗のスーパー、GMS（総合スーパー）におけるPOSレジにより集計された品目別の売上高をもとに「売上高指数」を作成して、その変化を前年同週比で示しています。

品目の選択では、特定の品目を選択する他にあらかじめV-RESASで用意されている①その地域で変化の特徴的な品目、②注目度の高い品目の中から選択することもできます。



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

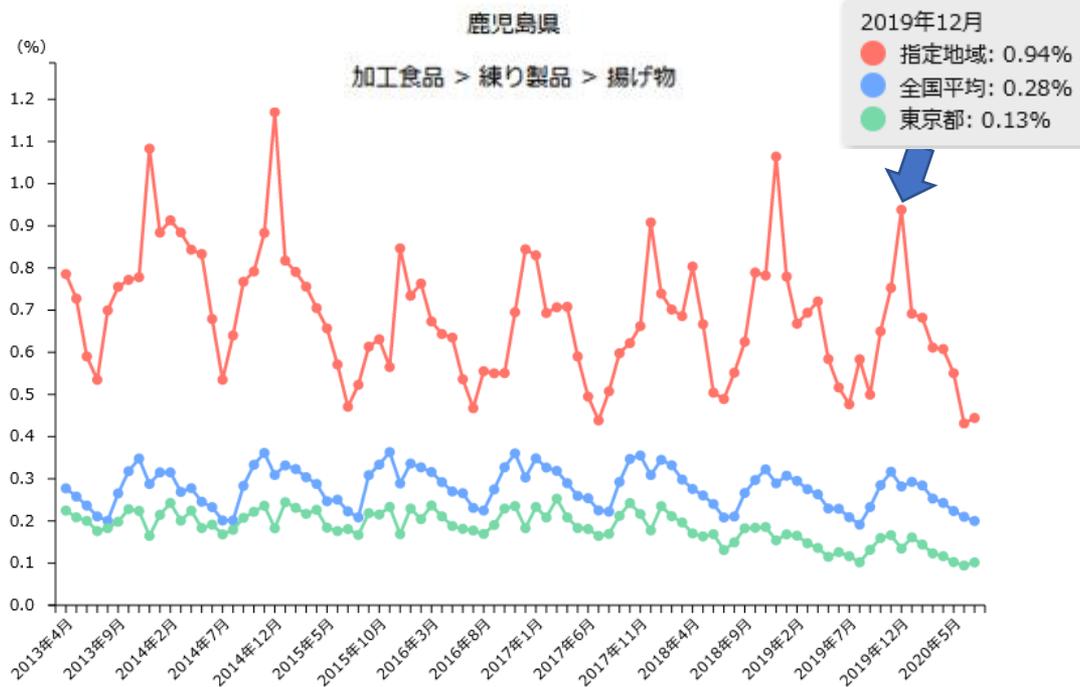
- 鹿児島県における水産練り製品・揚げ物の売上高は、2020年1月の第3週に対前年同週比+3%とプラスに転じて以降、同年10月まで「巣ごもり消費」の影響もあり対前年同週比でプラスを維持。12月末には同+201%に急増。

季節による変化は？

分析 視点

スーパーマーケット、ドラッグストアなどの購買情報を分析することで、飲食料品や日用品など、地域の日常的な消費傾向の把握に役立ってます。

購入金額（商品別地域割合） - 地域別



【出典】 True Data by 株式会社True Data

【注記】 データの二次利用にあたり、数値等の改変は禁止する。データは株式会社True Dataの保有する全国パネルに基づいて作成。生鮮・総菜においては中分類・小分類においても生鮮・総菜のみ。Copyright © 2017 True Data Inc. All Rights Reserved.

RESAS Key Point

購入金額（商品別地域割合）とは、「地域である商品の購入金額割合がどれくらい多いか」を表す指標です。

この指標から地域で商品がどの季節によく購入されているかを、2013年までさかのぼって把握することができます。また、全国平均や他地域と比較して地域で売られている商品を把握することができます。



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

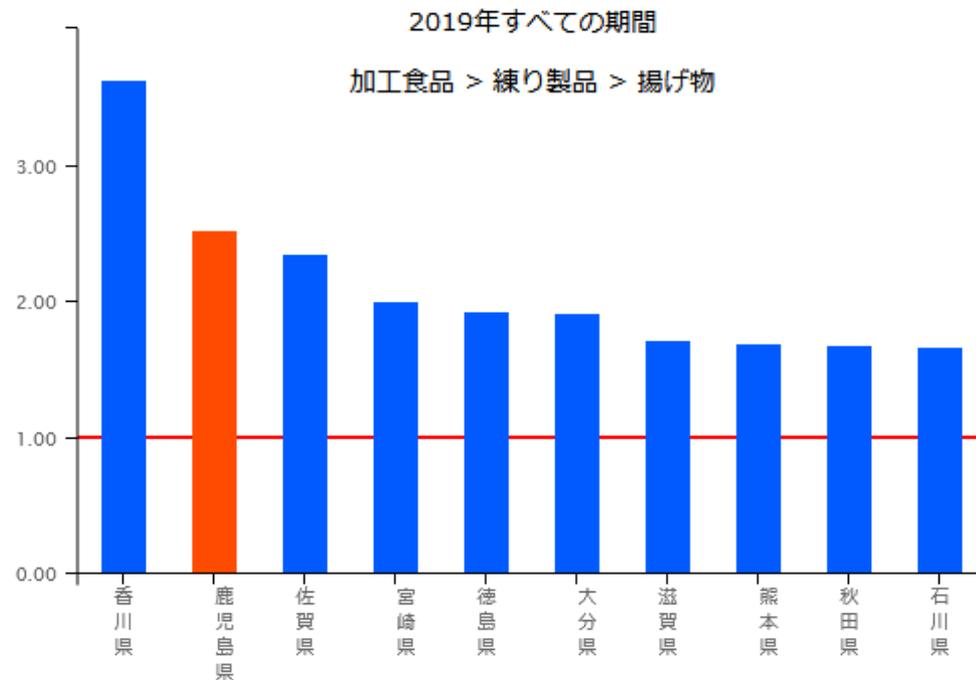
- 上のグラフは、揚げ物の購入金額割合の推移を示しています。鹿児島県では毎年12月がピークです。また、揚げ物の購入金額割合は、年間を通して全国平均や東京都と比べ高いことがわかります。

特化係数（購入金額）から、地域で購入金額の多い商品を見ると？

分析視点

特化係数の分析を行うことを通して、全国平均（特化係数 = 1）と比較して地域で相対的に購入金額が多い商品が何かを把握します。

特化係数（購入金額） - 地域別



【出典】 True Data by 株式会社True Data

【注記】 データの二次利用にあたり、数値等の改変は禁止する。データは株式会社True Dataの保有する全国パネルに基づいて作成。生鮮・総菜においては中分類・小分類においても生鮮・総菜のみ。Copyright © 2017 True Data Inc. All Rights Reserved.

RESAS Key Point

特化係数（購入金額）とは、「ある地域での商品の購入金額が全国と比べてどれくらい多いか」を表す指標です。

この特化係数の大きさから地域において相対的に購入金額の多い商品を把握しましょう。



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

- 全国平均（特化係数 = 1）と比較して、練り製品：揚げ物がよく購入されてる都道府県は1位が香川県、2位鹿児島県、3位佐賀県です。上位10位までに九州地方から5県入っていることがわかります。

鹿児島県の地産品である練り製品・揚げ物は、どこで消費されている？

分析
視点

都道府県単位で地産品の消費地や地域における特定商品のシェアを把握します。

地産品の消費地別割合

鹿児島県
加工食品>練り製品>揚げ物
2019年すべての期間



【出典】 True Data by 株式会社True Data

指定地域内の商品生産地別割合

鹿児島県
加工食品>練り製品>揚げ物
2019年すべての期間



【出典】 True Data by 株式会社True Data

RESAS Key Point

地域の商品が全国のどの地域で消費されているかについてRESASで把握しましょう。

地産品と他県産の地域内での消費状況から地産地消に対する理解や地産品の販売促進策を検討する際に役に立ちます。



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

- (左図) 鹿児島県で生産された揚げ物の約83%が県内で消費されている。残り約17%は他県である。
- (右図) 鹿児島県で消費される揚げ物は、県内産が1番人気で約78%。2番人気は、山口産の16%。

演習 地域の消費 まとめシート (2)

V-RESASおよびその他の統計データから地域の消費の特徴を調べてシートに整理します。

項目	内容	RESAS 操作
任意の商品について 地域ブロックごとの売上高の変化は？	V-RESAS 消費 (品目別)	V-RESAS 消費
任意の商品について 都道府県別の売上高の変化は？	V-RESAS 消費 (品目別)	V-RESAS 消費
任意の商品について 地域の季節ごとの消費傾向は？	購入金額 (商品別地域割合)	消費マップ>From to分析
地域で購入金額の多い商品は？	特化係数 (購入金額)	消費マップ>From to分析
地産品はどの地域で消費されている？	地産品の消費地	消費マップ>From to分析

まとめ 地域の消費の現状・課題

消費に関するデータ一覧

分野	項目	データ概要	データ詳細	出典	計算式・留意点
消費	決済データから見る消費動向	クレジットカード決済情報をもとに指定都道府県の消費の変化を前年同期比で表示。	日本各地のJCBグループカード会員から、無作為抽出した100万会員のクレジットカード決済データを活用し、消費指数を作成します。会員住所及び利用加盟店の業種を用いて情報を分析。	JCB/ナウキャスト「JCB消費NOW」	<p>① 指定都道府県の業種別における「半月頻度（締日15日及び末日）の消費額」を集計</p> <p>② ①で求めたものの前年同期比（変化率）を算出し、縦軸に示す値とする。なお、グラフ上ではこれをパーセント表記で示す。</p> <p>その他留意点 個人が特定できない状態の情報へ加工しています。 データの引用、利用の際には、下記のJCB消費NOW第14条の規定に準拠するようにご注意ください。 https://www.jbcconsumptionnow.com/guidelines</p>
	POSで見る売上高動向	POSレジにより集計された売上情報をもとに指定都道府県の売上高の変化を前年同週比で表示。	全国約1200店舗のスーパー、GMSにおけるPOSレジにより集計された全国の品目別の売上高を元に売上高指数を作成し、情報を分析。	ナウキャスト、株式会社日本経済新聞社「日経CPINow」	<p>① 指定都道府県の品目別における「前年同曜日売上高変化率」を下記の計算式によって算出 $y = (\text{各日売上高} \div \text{364日前すなわち52週前売上高}) - 1$</p> <p>② ①で求めたものを各日について過去7日間の移動平均で算出し、縦軸に示す値とする。なお、グラフ上ではこれをパーセント表記で示す。</p> <p>※都道府県別の集計では、集計される店舗のサンプル数が限定されることになります。統計上の精度を確保するため、また、特定のチェーンの販売動向が類推できてしまうこと防ぐ秘匿化のために、一定のサンプル数に達しない都道府県においては、隣接県の店舗からのサンプル補充を行っています。データの引用、利用の際には、下記の日経CPINow第12条の規定に準拠するようにご注意ください。また、週次で提供されるデータについては、連続データを30週以上全て情報として感得することができる外部利用を禁止します。 https://jp.nowcast.co.jp/sitepolicy</p>

(出典) V-RESASのHP (<https://v-resas.go.jp/>) の情報をもとに作成

03

飲食

Restaurant

今回の訪問は、今も活動を続ける活火山、鹿児島島のシンボル・桜島をはじめとする豊かな自然や観光資源を有する鹿児島市です。



飲食に関するデータ分析のご相談



飲食に関する分析のご相談

トマト農家の畑中です。

美味しいトマトを食べていただきたいという思いから6年前にトマト農家を始めました。トマトの甘みと食感を大切に育ててきました。

新たな取引先となる飲食店を開拓するにあたって地域の飲食店に関する現状をおおまかに把握できるデータを収集しておきたいと考えていますが、どのようなデータに着目すればよいのでしょうか？



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

V-RESASでは、飲食店情報の閲覧数がどのように変化したのかわかる最新データを提供しています。

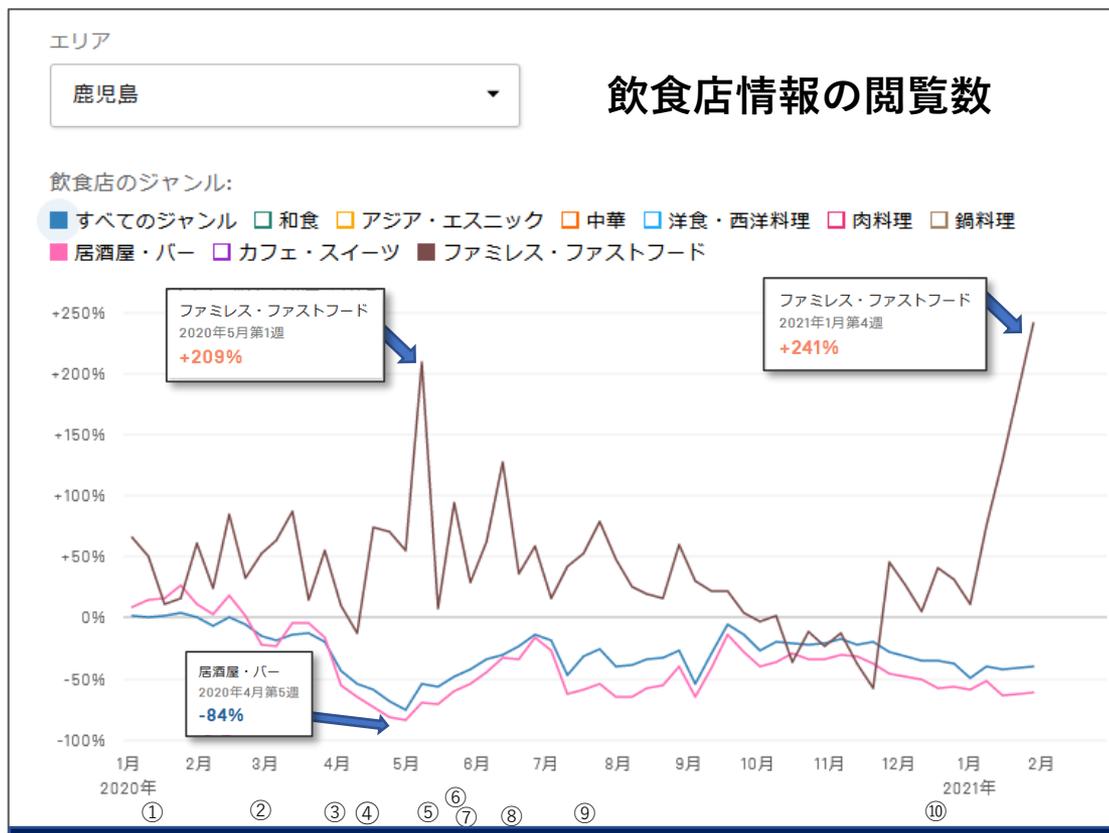
飲食店情報の閲覧数の変化ですので、そのまま来店客数が表示されるわけではありませんが、この飲食店情報の閲覧数の変化を追うことで、実際に飲食店に来店する人の傾向を推し量ることができます。

さて、ご相談の内容ですが、さっそく分析の視点を参考にして、地域の飲食に関する現状や課題を整理しましょう。

鹿児島エリア（鹿児島市とその近隣）の飲食店情報の閲覧数の推移は？

分析
視点

地域の飲食店情報の閲覧数をジャンルごとに把握することで、利用傾向を推測することができます。



【出典】内閣府地方創生推進室、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「V-RESAS（飲食）」。
R e t t y 株式会社「Food Data Platform」。

V-RESAS Key Point

このグラフは、月間利用者数が約4,000万人のクチコミグルメサービス「R e t t y」の飲食店情報ホームページの閲覧数を可視化したものです。

実際の来店者数ではありませんが、事前にネット検索して来店する可能性が高いことから、飲食店の利用傾向をつかめます。



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

番号	月日	新型コロナウイルス関連の主な出来事
①	1月16日	国内で初めての感染者を確認
②	3月2日	全国の全ての小中学校が臨時休校へ
③	4月7日	緊急事態宣言を7都道府県を対象に発令
④	4月16日	同宣言の対象を全都道府県に拡大
⑤	5月14日	同宣言を39県で解除
⑥	5月21日	同宣言を関西3府県で解除
⑦	5月25日	同宣言を全面解禁へ
⑧	6月19日	都道府県をまたぐ移動の自粛要請を緩和
⑨	7月22日	「Go Toトラベル」キャンペーン開始
⑩	12月28日	「Go Toトラベル」キャンペーン停止

【出典】内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室の関連資料をもとに作成。

- 飲食店情報の閲覧数の変化をみると、ジャンルごとに異なる傾向が見られる。消費者のテイクアウトや宅配利用を追い風にファミレス・ファーストフードが急増。一方、夜の会食で主に利用される居酒屋・バーは前年同週比を下回る動き。

地域の経済全体に占める飲食店の大きさは？

分析
視点

鹿児島市の地域経済に占める飲食店の位置づけを（付加価値額・売上高・従業者数）の観点から把握します。



(中分類) まとめ

	付加価値額	売上高	従業者数
第1位	医療業	社会保険社会福祉介護事業	医療業
第2位	食料品製造業	飲食料品卸売業	飲食店
第3位	総合工事業	その他の小売業	各種商品小売業

RESAS Key Point

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で多くの業態の飲食店では、対前年同期比割れとなっています。

この影響は食材を納品する業者や生産者など取引先にも及びます。

ここでは、地域の産業構造全体に占める飲食店の位置付けについて「従業者数、付加価値額、売上高」で把握します。

また、食料品製造業など関連産業についても、上記の観点から把握しましょう。



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

【出典】総務省「経済センサス-基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工
【注記】会社数と個人事業所を合算。

- (従業者数) が二番目に大きな規模の産業は飲食店。鹿児島市の雇用を支えていることがわかります。

演習 地域の飲食 まとめシート

V-RESASおよびその他の統計データから地域の飲食の特徴を調べてシートに整理します。

項目	内容	RESAS 操作
飲食店ジャンルごとの変化は？ 閲覧数が増加したジャンルは？ 閲覧数が減少したジャンルは？	V-RESAS (飲食)	V-RESAS (飲食)
飲食店ジャンル 同じ推移を示しているのは？ 違う推移を示しているのは？	V-RESAS (飲食)	V-RESAS (飲食)
飲食店ジャンルごとの 新型コロナウイルスの影響は？	V-RESAS (飲食)	V-RESAS (飲食) 新型コロナウイルス関連の 主な出来事
地域の経済全体に占める 飲食店や関連業種の規模は？	付加価値額、売上高、従業者数の傾向	RESAS 産業構造マップ > 全産業 > 全産業の構造 > 表示分類を指定する > 中分類
まとめ 地域の飲食の現状・課題		
(記入欄)		

飲食に関するデータ一覧

分野	項目	データ概要	データ詳細	出典	計算式・留意点
飲食	飲食店情報の閲覧数	飲食店情報の閲覧数を飲食店のジャンルごとに2019年同週比で表示。	月間利用者数4000万人の「Retty」が保有する食のビッグデータ基盤「Food Data Platform」より各種飲食店情報、閲覧数を可視化。	Retty株式会社 Food Data Platformより提供	<p>① 各県及びエリアにおける、飲食店ごとの情報を掲載したページに対する閲覧数を週毎に合計</p> <p>② ①で求めたものについて2019年同週からの変動を下記の計算式によって縦軸に示すyの値とする。なお、グラフ上ではこれをパーセント表記で示す。</p> $y = (\text{当該週のPV数} \div \text{2019年同週のPV数}) - 1$ <p>※なお2019年同週の定義はISO 8601およびJIS X 0301に準拠する</p> <p>その他留意点：1月第3週（1/18～1/24）のデータに関しては、提供を停止しております。</p>

(出典) V-RESASのHP (<https://v-resas.go.jp/>) の情報をもとに作成

コンテンツ利用について

1.コンテンツ利用に当たっては、出典を記載してください。引用時の記載例は以下を参考にして下さい。

(出典記載例)

出典：松浦義昭（2021）「地域経済分析システム（RESAS）」で読み解く鹿児島県の現在と未来
(当該ページのURL) (〇年〇月〇日に取得)

2.第三者の権利を侵害しないようにしてください。

コンテンツの中には、第三者が著作権その他の権利を有している場合があります。第三者が著作権を有しているコンテンツや、第三者が著作権以外の権利を有しているコンテンツについては、特に権利処理済であることが明示されているものを除き、利用者の責任で、当該第三者から利用の許諾を得てください。

コンテンツのうち第三者が権利を有しているものについては、出典の表記等によって第三者が権利を有していることを直接的又は間接的に表示・示唆しているものもありますが、明確に第三者が権利を有している部分の特定・明示等を行っていないものもあります。利用する場合は利用者の責任において確認してください。